

文化・芸術の催し

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244
 ✉ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp (〒659-0052 伊勢町12-15)

【一日体験講座】美文字で書く年賀状

■日時 11月19日(日)午後2時～3時30分 ■会場 講義室
 ■内容 初心者でも簡単に書ける美文字のコツをお教えします。
 ■定員 先着16人(要予約)
 ■講師 藤田朱雀氏(書家・武庫川女子大学教授) ■受講料 1,000円(観覧料不要)
 ■持ち物 筆ペン(または筆、墨、硯、文鎮)・はがき ■申し込み 上記へ



【ロビーギャラリー展】久保さち影絵・原画展



■会期 11月22日～12月9日(最終日は午後3時まで)
 ■会場 ロビーギャラリー ■内容 「春琴抄」「吉野葛」など谷崎作品の名場面を影絵にしてきた作家のデビュー展です。
 ■費用 要観覧料

吉野葛 「狐」

●ギャラリートーク 久保さちトーク「影絵の魅力・体験しませんか」

■日時 11月23日(木・祝)午後2時～3時30分 ■会場 講義室
 ■内容 ロビーギャラリー展を開催中の作家が影絵の魅力を語り、簡単に作れるワークショップ。ポストカードのおみやげ付き。
 ■定員 先着30人(要予約) ■受講料 500円(別途要観覧料)
 ■持ち物 鉛筆(2B～4Bの柔らかいもの)・消しゴム ■申し込み 上記へ



【特別展開連講座】たつみ都志・当館副館長が語る「春琴抄」秘話



■日時 12月3日(日)午後2時～3時30分
 ■会場 講義室
 ■内容 谷崎文学研究者が「春琴抄」の成立した背景を分かりやすく読み解きます。
 ■定員 先着30人(要予約)
 ■参加費 1,000円(観覧料含む)
 ■申し込み 上記へ

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】一般400(320)円、大・高生300(240)円、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人1人は各当日料金の半額

富田碎花旧居 展示

テーマ『白樺』から『兵庫讃歌』へ

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

碎花の文学への出発は短歌です。与謝野寛・晶子の新詩社に参加し、短歌を発表する傍ら吉井勇、石川啄木らと親交を温めました。詩が創作の主眼となっても短歌に対する思いは変わらず、『白樺』、『歌風土記 兵庫縣』の出版をへて『兵庫讃歌』を発表しました。今回、その一部を展示します。



富田碎花詩碑と碎花

■会期 平成30年3月28日(水)まで(毎水曜日・日曜日・午前10時～午後4時)※入館は午後3時まで
 ■会場 富田碎花旧居(宮川町4-12)



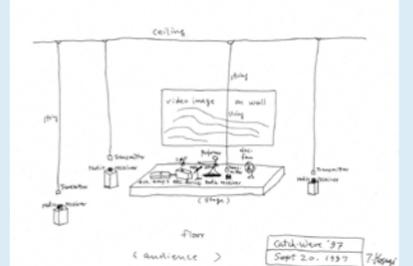
「兵庫讃歌(抄)」原稿

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434
 ✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25)

■小杉武久 音楽のピクニック

■会期 12月9日～平成30年2月12日
 ■会場 ホール、第1・2展示室
 ■内容 約300点の貴重な資料や作品で、小杉独自の「音の世界」の全貌をご覧いただけます。



小杉武久 《Catch-Wave '97》 1997年
 ドローイング 作家蔵

小杉武久・音楽家(1938年東京生まれ)
 「グループ・音楽」や「タージ・マハル旅行団」のメンバーとして活動、77年よりアメリカの「マース・カニングハム舞踊団」の専属音楽家や音楽監督を務めました。

●トークショー 高橋悠治(作曲家・ピアニスト)

聞き手:川崎弘二(電子音楽研究)

■日時 12月23日(土・祝)午後2時～約1時間 ■会場 講義室 ■定員 80人
 ■参加費 要観覧料 ■申し込み 12月7日(木)必着

●対談 小杉武久(音楽家)×藤本由紀夫(アーティスト)

■日時 平成30年1月13日(土)午後2時～約1時間 ■会場 講義室 ■定員 80人
 ■参加費 要観覧料 ■申し込み 12月25日(月)必着

■申し込み(トークショー・対談)

往復はがきに参加希望者全員の氏名(2人まで連名可。)、代表者の住所・電話番号と希望のイベント名を明記の上、上記へ。※1つのイベントにつき1通。応募者多数の場合は抽選

●学芸員によるギャラリートーク

■日時 12月16日(土)午後2時～1時間程度 ■会場 展示室 ■内容 本展担当学芸員による展示解説 ■参加費 要観覧料

■昔の暮らし

■会期 12月9日～平成30年2月25日
 ■会場 歴史資料展示室
 ■内容 昔の人が大事に使っていた資料を通して、道具の進化や、人々の工夫をご覧いただけます。

打掛
1940年



■アートスタディプログラム《Bihaku Room/びはくルーム》

●ワークショップ「ものを積み上げる、石膏をかける」

■日時 12月17日(日)午前10時30分～午後3時30分 ■会場 体験学習室
 ■内容 身の回りの日用品やモノなどを組み合わせ、石膏でつなげた彫刻づくり ■定員 小学生以上・20人 ■講師 金氏徹平氏(美術家)



組立(オバケのスカulptチャーのレクチャー) 2016 撮影:井上佐由紀

■持ち物 身の回りにある、彫刻にしてみたいもの(紙・木材以外5個～10個)※使えなくなっても構わないものをお持ちください。昼食・飲み物・タオル

■申し込み 電話かEメールで、氏名・住所・電話番号・学年(子どものみ)を12月3日(日)までに上記へ。※応募者多数の場合は抽選

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】月曜日(11月27日～12月8日は展示替えのため休館)

【観覧料】(広重展)一般1,000(800)円、大高生700(560)円、中学生以下無料

(小杉武久展)一般800(640)円、大高生500(400)円、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金

※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額